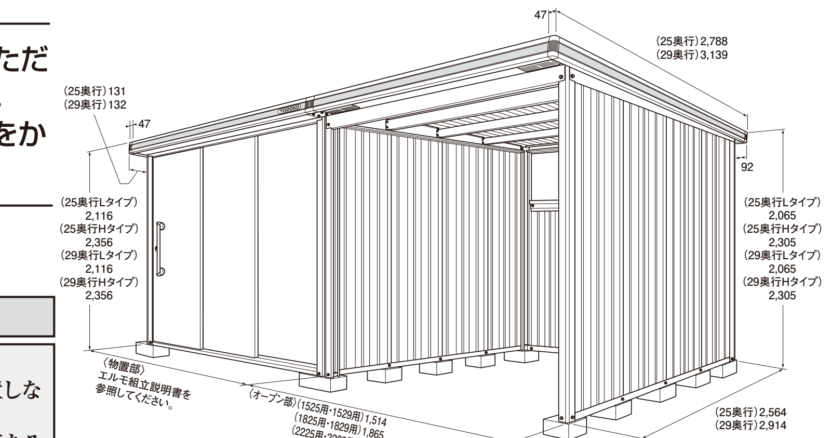
ヨド物置 エルモコンビ

組立説明書 1525（H）・1529（H）・1825（H）
〈オープン部〉サイズ 1829（H）・2225（H）・2229（H）用

「エルモコンビ」は、この組立説明書と「エルモ」組立説明書を参照して組立ててください。
※〈物置部〉は間口寸法1862mmの機種で説明しています。

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。

鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。


47
(25奥行)2,788
(29奥行)3,139
(25奥行)131
(29奥行)132
47
92
(25奥行Lタイプ) 2,116
(25奥行Hタイプ) 2,356
(29奥行Lタイプ) 2,116
(29奥行Hタイプ) 2,356
(25奥行Lタイプ) 2,065
(25奥行Hタイプ) 2,305
(29奥行Lタイプ) 2,065
(29奥行Hタイプ) 2,305
〈物置部〉エルモ組立説明書を参照してください。
〈オープン部〉(1525用・1529用)1,514
(1825用・1829用)1,865
(2225用・2229用)2,215
(25奥行)2,564
(29奥行)2,914

設置場所の制限 ⚠注意

- ●建物の屋上には設置しないでください。
- ●バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- ●大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には、設置しないでください。
- ●崖のふち・風当たりの強い場所等安全の確認のできない場所には、設置しないでください。
- ●給湯器の前には設置しないでください。

組立施工の際には ⚠注意

- ●アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。

お願い

- ●重量物・長尺物は運搬・据付の際に複数人数で行い、振り回したり落としたりしないよう注意してください。
- ●組立の際には手袋を着用してください。
- ●風の強い日・雨の日は、組立作業をさけてください。
- ●高い足場が必要なときは、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- ●組立後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。
- ●工事完了後は、必ず切粉を取り除いてください。

〈施工にあたって〉

1.まず、御注文通りの商品かどうかを確認してください。
2.本体寸法を参考にし、組立てに支障のない程度のスペースを確保してください。
3.部材の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組立してください。
4.部材は、すべて、鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。（安全のため必ず手袋を着用してください。）
5.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
6.部材の組立では、ボルトの孔を合わせて組立てください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

梱包組合せ表

機種	部品	前後材	左右材	鼻隠し	柱	補強		屋根	壁	腰壁	計
						一般地	積雪地				
1525（H）	LM3-K013	LM3-K020	LM3-K033 （LM3-K038）	LM3-K110	LM3-K040 （LM3-K045）	LM3-K053	LM3-K058	LO3-0941	LM3-1013・LM3-1021 （LM3-1063・LM3-1071）	LM3-K102	10
1529（H）			LM3-K034 （LM3-K039）					LO3-0902	LM3-1014 （LM3-1064）		9
1825（H）	LM3-K017	LM3-K021	LM3-K033 （LM3-K038）	LM3-K111	LM3-K040 （LM3-K045）	LM3-K063	LM3-K068	LO3-0942	LM3-1013・LM3-1021 （LM3-1063・LM3-1071）	LM3-K102 LM3-K106	11
1829（H）			LM3-K034 （LM3-K039）					LO3-0904	LM3-1014 （LM3-1064）		10
2225（H）	LM3-K017	LM3-K022	LM3-K033 （LM3-K038）	LM3-K112	LM3-K040 （LM3-K045）	LM3-K073	LM3-K078	LO3-0943	LM3-1013・LM3-1021 （LM3-1063・LM3-1071）	LM3-K103	10
2229（H）			LM3-K034 （LM3-K039）					LO3-0902 LM3-0905	LM3-1014 （LM3-1064）		10

※Hタイプの場合、左右材、柱、壁の梱包番号は（ ）内の番号になります。

梱包内容表

●部品

部材名	LM3-K013 数量	LM3-K017 数量
接続金具 後	1	1
OPS下枠接続金具前外	1	1
OPS下枠接続金具前内 左	1	1
OPS下枠接続金具前内 右	1	1
OPS下枠接続金具後	1	1
OP上枠中支持金具(96)	2	2
OPS下枠すき間隠し 左	1	1
OPS下枠すき間隠し 右	1	1
OPS下枠側孔フサギ金具	3	3
間柱金具 ⑤	2	2
間柱金具 ⑥	1	1
間柱金具 ⑦	2	2
間柱金具 ⑧	1	1
ボルト M6×18	9	9
フランジナット M6×13	7	7
はり用ボルト M6×12	13	13
OPS胴縁取付金具	2	2
OPS上枠中孔フサギシール	1	1
OPS鼻隠し前接続金具	1	1
OPS鼻隠し前接続プレート	1	1
OPS鼻隠し前固定金具A	1	1
OPS鼻隠し後接続金具	2	2
OPS鼻隠し前連結化粧	1	1
ボルト M6×15	142	162
フランジナット M6×16	28	29
セルフドリルビス 4φ×13	8	9
屋根止結金具	15	24
壁パネル止結金具	37	43
アンカープレートL	2	2
打込みアンカー	2	2
組立説明書	1	1
取扱説明書	1	1
保証書	1	1
ソフトテープ L=1500	2	-
ソフトテープ L=2200	-	2

※部材名称にはA2.0等の記号がついた部材がありますが、これらは部材の長さの記号であり、説明書文中では省略しております。
※部材名称のOPSはオープンスペースの略号です。

●前後材

LM3-K020 部材名	数量
OPS下枠後 A2.0	1
OPS上枠前 A2.0	1
OPS上枠後 A2.0	1
OPS胴縁A A2.0	1
OPS胴縁B A2.0	1
OPS間柱後	1

LM3-K021 部材名	数量
OPS下枠後 A2.5	1
OPS上枠前 A2.5	1
OPS上枠後 A2.5	1
OPS胴縁A A2.5	1
OPS胴縁B A2.5	1
OPS間柱後	2

LM3-K022 部材名	数量
OPS下枠後 A3.0	1
OPS上枠前 A3.0	1
OPS上枠後 A3.0	1
OPS胴縁A A3.0	1
OPS胴縁B A3.0	1
OPS間柱後	2

●左右材

LM3-K033 部材名	数量
OPS下枠側 A3.5	1
OPS上枠中 左 A3.5	1
OPS上枠中 右 A3.5	1
OPS間仕切り間柱 前3.5L	1
OPS間仕切り間柱 中3.5L	1
OPS間仕切り間柱 後3.5L	1
OPS屋根止結材 A3.5	1

LM3-K034 部材名	数量
OPS下枠側 A4.0	1
OPS上枠中 左 A4.0	1
OPS上枠中 右 A4.0	1
OPS間仕切り間柱 前4.0L	1
LLC間仕切り間柱 中2.0L	1
OPS間仕切り間柱 後4.0L	1
OPS屋根止結材 A4.0	1

LM3-K038 部材名	数量
OPS下枠側 A3.5	1
OPS上枠中 左 A3.5	1
OPS上枠中 右 A3.5	1
OPS間仕切り間柱 前3.5H	1
OPS間仕切り間柱 中3.5H	1
OPS間仕切り間柱 後3.5H	1
OPS屋根止結材 A3.5	1

●左右材

LM3-K039 部材名	数量
OPS下枠側 A4.0	1
OPS上枠中 左 A4.0	1
OPS上枠中 右 A4.0	1
OPS間仕切り間柱 前4.0H	1
OPS間仕切り間柱 中2.0H、4.0H	1
OPS間仕切り間柱 後4.0H	1
OPS屋根止結材 A4.0	1

●鼻隠し

LM3-K110 部材名	数量
OPS鼻隠し前 A2.0	1
OPS鼻隠し後 外A2.0	1
OPS鼻隠し後 内	1

LM3-K111 部材名	数量
OPS鼻隠し前 A2.5	1
OPS鼻隠し後 外A2.5	1
OPS鼻隠し後 内	1

LM3-K112 部材名	数量
OPS鼻隠し前 A3.0	1
OPS鼻隠し後 外A3.0	1
OPS鼻隠し後 内	1

●壁

LM3-1013 部材名	数量
ELC壁 L-A	3

LM3-1014 部材名	数量
ELC壁 L-A	4

LM3-1021 部材名	数量
ELC壁 L-F	1

LM3-1063 部材名	数量
ELC壁 H-A	3

LM3-1064 部材名	数量
ELC壁 H-A	4

LM3-1071 部材名	数量
ELC壁 H-F	1

●柱

LM3-K040 部材名	数量
OPS柱 前左L	1
OPS柱 前右L	1
OPS柱 後左L	1
OPS柱 後右L	1
OPS柱スペーサーAL	1
OPS柱スペーサーBL	1

LM3-K045 部材名	数量
OPS柱 前左H	1
OPS柱 前右H	1
OPS柱 後左H	1
OPS柱 後右H	1
OPS柱スペーサーAH	1
OPS柱スペーサーBH	1

●屋根

LO3-0902 部材名	数量
LOC L-屋根板大 A4.0	1
ELC屋根板小 A4.0	3

LO3-0904 部材名	数量
LOC L-屋根板大 A4.0	1
ELC屋根板小 A4.0	4

LM3-0905 部材名	数量
ELC屋根板小 A4.0	2

LO3-0941 部材名	数量
LOC L-屋根板大 A3.5	1
ELC屋根板小 A3.5	3

LO3-0942 部材名	数量
LOC L-屋根板大 A3.5	1
ELC屋根板小 A3.5	4

LO3-0943 部材名	数量
LOC L-屋根板大 A3.5	1
ELC屋根板小 A3.5	5

●腰壁

LM3-K102 部材名	数量
OPS腰壁 L-A	2

LM3-K103 部材名	数量
OPS腰壁 L-A	3

LM3-K106 部材名	数量
OPS腰壁 L-F	1

●補強 一般地

LM3-K053 部材名	数量
OPSはり DHK A2.0	1
ELCはり I A2.0(S)	1
OPSはり JM A2.0	1

LM3-K063 部材名	数量
OPSはり DHK A2.5	1
ELCはり IL A2.5(S)	1
OPSはり JM A2.5	1

LM3-K073 部材名	数量
OPSはり DHK A3.0	1
ELCはり IL A3.0	1
OPSはり JM A3.0	1

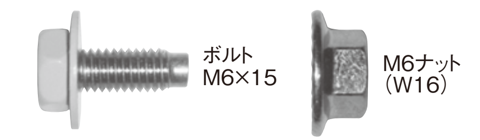
●補強 積雪地

LM3-K058 部材名	数量
OPSはり DHK A2.0S	1
OPSはり DHK A2.0SW	1
ELCはり I A2.0(S)	1
OPSはり JM A2.0S	1
OPSはり JM A2.0SW	1
OPS上枠後補強 A2.0	1

LM3-K068 部材名	数量
OPSはり DHK A2.5S	1
OPSはり DHK A2.5SW	1
OPSはり CFIL A2.5S	1
OPSはり CFIL A2.5SW	1
OPSはり JM A2.5S	1
OPSはり EJM A2.5SW	1
OPS上枠後補強 A2.5	1

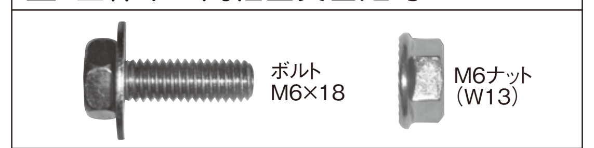
LM3-K078 部材名	数量
OPSはり DHK A3.0S	1
OPSはり DHK A3.0SW	1
OPSはり CFIL A3.0S	1
OPSはり CFIL A3.0SW	1
OPSはり JM A3.0S	1
OPSはり JM A3.0SW	1
OPS上枠後補強 A3.0	1

使用ボルト一覧

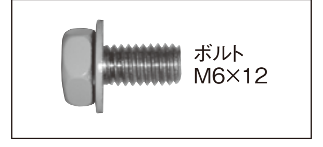

ボルト
M6×15
M6ナット
(W16)

組立説明にサイズ表記のないボルト、ナットは全て上のものを使用します。

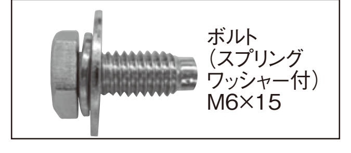
6 OPS柱前・柱後固定時
13 上枠中の間柱金具固定時


ボルト
M6×18
M6ナット
(W13)

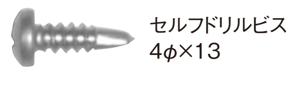
14 15 はりの組立時



16 間柱前固定時


ボルト
(スプリングワッシャー付)
M6×15

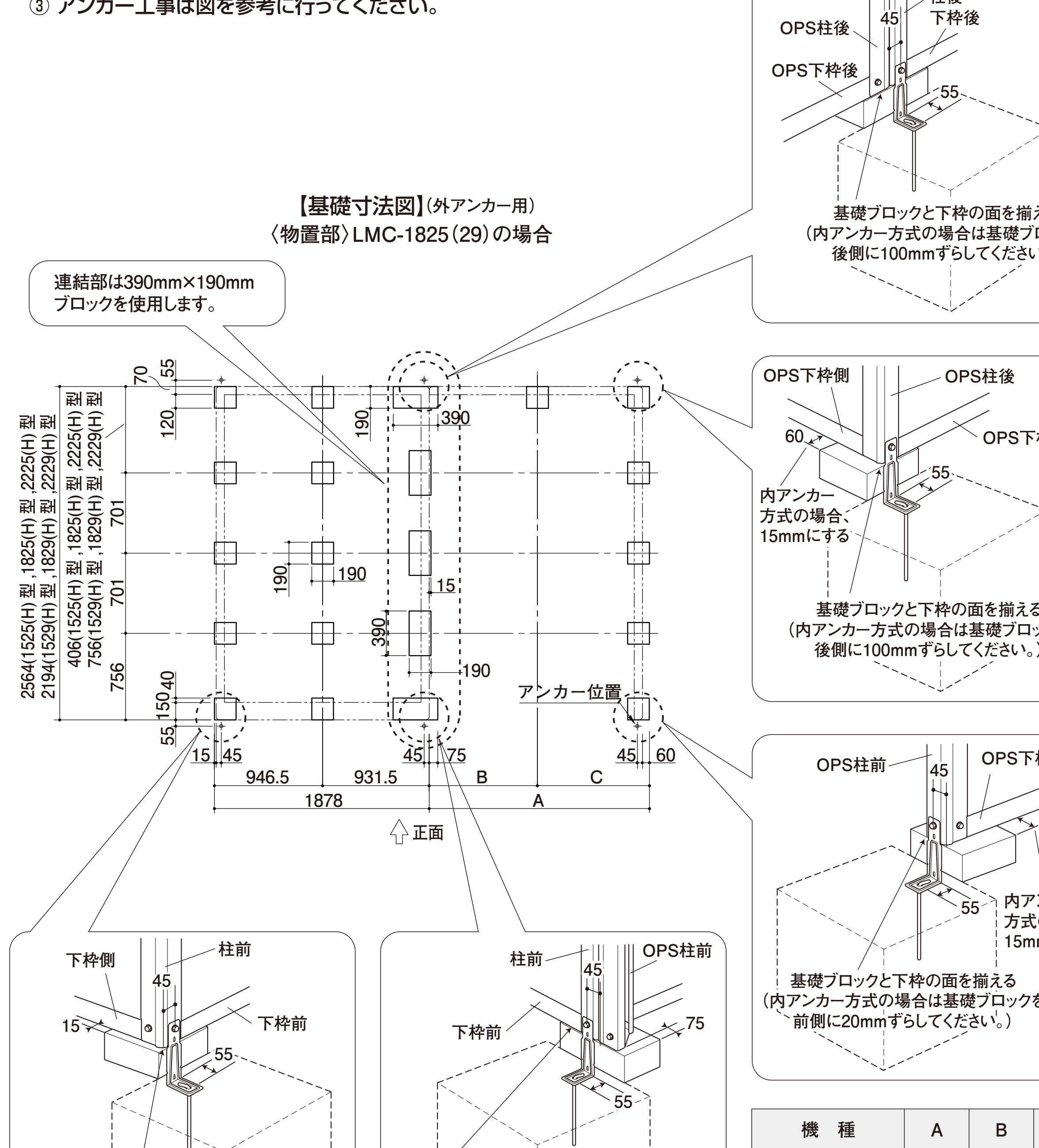
23 25 上枠後補強と鼻隠し後固定時


セルフドリルビス
4φ×13

1 基礎寸法について

① 〈オープン部〉を左右どちらに設置するか決めてください。
本説明書は〈オープン部〉を右側に設置し、外アンカー方式にて施工する場合で説明しています。
② 基礎ブロックを図の寸法に並べます。
〈オープン部〉が左側の場合は、ブロック配置を左右反転します。
③ アンカー工事は図を参考に行ってください。

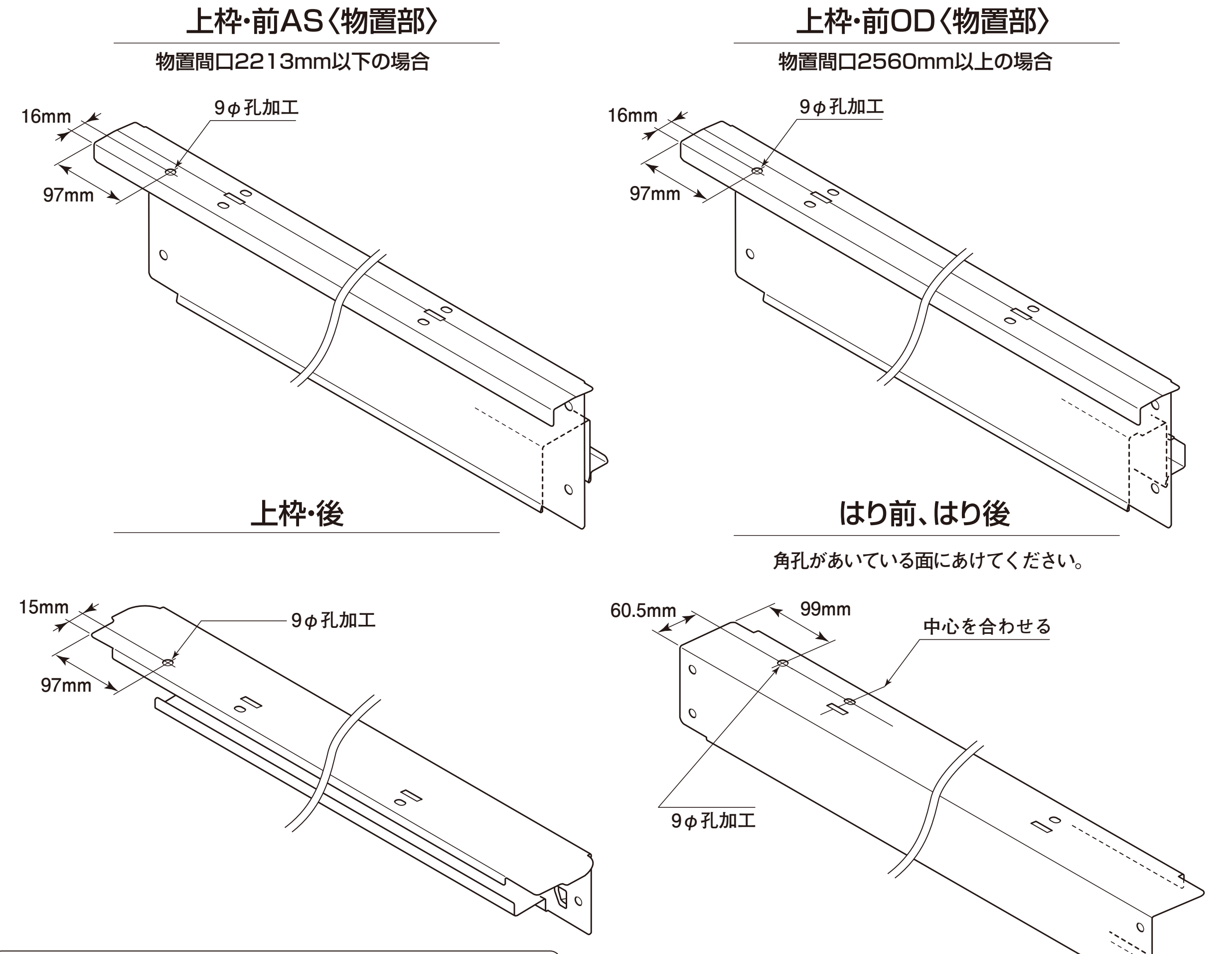
【基礎寸法図】（外アンカー用）
〈物置部〉LMC-1825（29）の場合


連結部は390mm×190mmブロックを使用します。
2564(1525(H)型,1825(H)型,2225(H)型
2194(1529(H)型,1829(H)型,2229(H)型
406(1525(H)型,1825(H)型,2225(H)型
756(1529(H)型,1829(H)型,2229(H)型
70
55
120
190
390
701
701
756
190
190
15
390
190
40
150
55
15
45
946.5
931.5
45
75
B
C
45
60
1878
A
正面
アンカー位置
OPS柱後
柱後
下枠後
OPS下枠後
45
55
基礎ブロックと下枠の面を揃える
(内アンカー方式の場合は基礎ブロックを後側に100mmずらしてください。)
OPS下枠側
OPS柱後
OPS下枠後
60
55
内アンカー方式の場合、15mmにする
基礎ブロックと下枠の面を揃える
(内アンカー方式の場合は基礎ブロックを後側に100mmずらしてください。)
OPS柱前
OPS下枠側
45
60
55
内アンカー方式の場合、15mmにする
基礎ブロックと下枠の面を揃える
(内アンカー方式の場合は基礎ブロックを前側に20mmずらしてください。)
下枠側
柱前
45
15
下枠前
55
基礎ブロックと下枠の面を揃える
(内アンカー方式の場合は基礎ブロックを前側に20mmずらしてください。)
柱前
OPS柱前
45
下枠前
75
55
基礎ブロックと下枠の面を揃える
(内アンカー方式の場合は基礎ブロックを前側に20mmずらしてください。)

機種	A	B	C
1525（H）・1529（H）	1574	758	816
1825（H）・1829（H）	1924.5	933	991.5
2225（H）・2229（H）	2275	1108.5	1166.5

2 〈全体〉上枠・はりの前加工

〈オープン部〉が左側の場合のみ 〈物置部〉の**上枠前・上枠後・はり**（角孔があいているもののみ）の天面に9φ孔をあけます。


上枠・前AS〈物置部〉
物置間口2213mm以下の場合
16mm
9φ孔加工
97mm
上枠・前OD〈物置部〉
物置間口2560mm以上の場合
16mm
9φ孔加工
97mm
上枠・後
15mm
9φ孔加工
97mm
はり前、はり後
角孔があいている面にあけてください。
60.5mm
99mm
中心を合わせる
9φ孔加工

※機種により断面が異なります。

注意 〈オープン部〉が右側の場合、上枠・はりの孔加工は不要です。

3 〈物置部〉下枠の組立

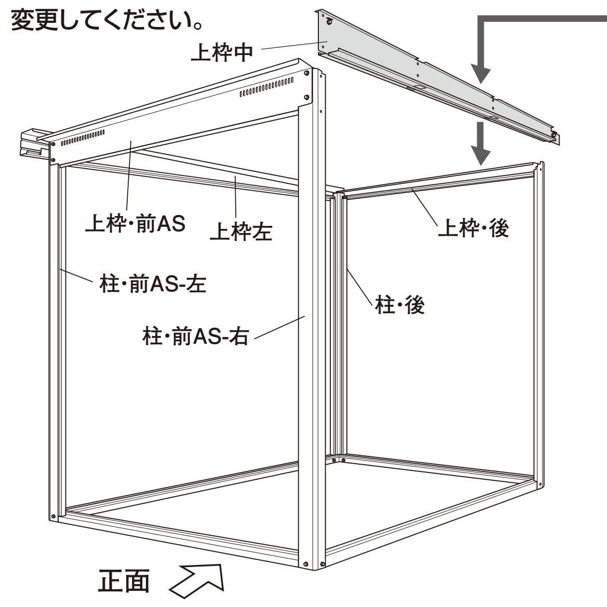
エルモ組立説明書（下枠の組立）の手順を参照し、〈物置部〉の下枠を組立てます。

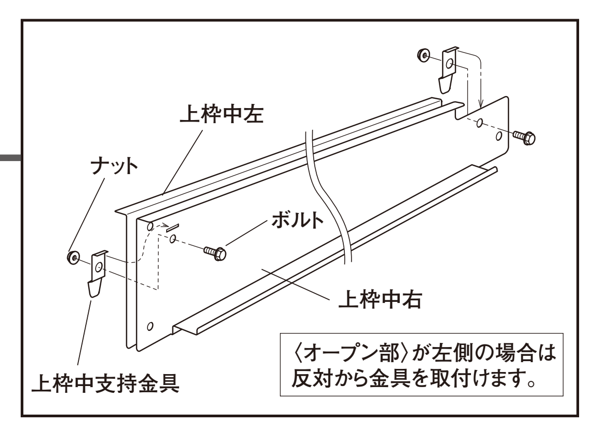
4 〈物置部〉柱の組立

エルモ組立説明書（柱の組立）の手順を参照し、〈物置部〉の柱4本を取付けます。
ただし、アンカープレートLの取付位置は、正面と後面にします。（工程1の図を参照ください。）

5 〈物置部〉上枠の組立

① エルモ組立説明書（上枠の組立）の手順を参照し、〈物置部〉の上枠を組立てます。ただし、〈オープン部〉が付く側の**上枠右**（または**上枠左**）を**上枠中**に変更してください。


上枠中
上枠・前AS
上枠左
上枠・後
柱・前AS-左
柱・後
柱・前AS-右
正面

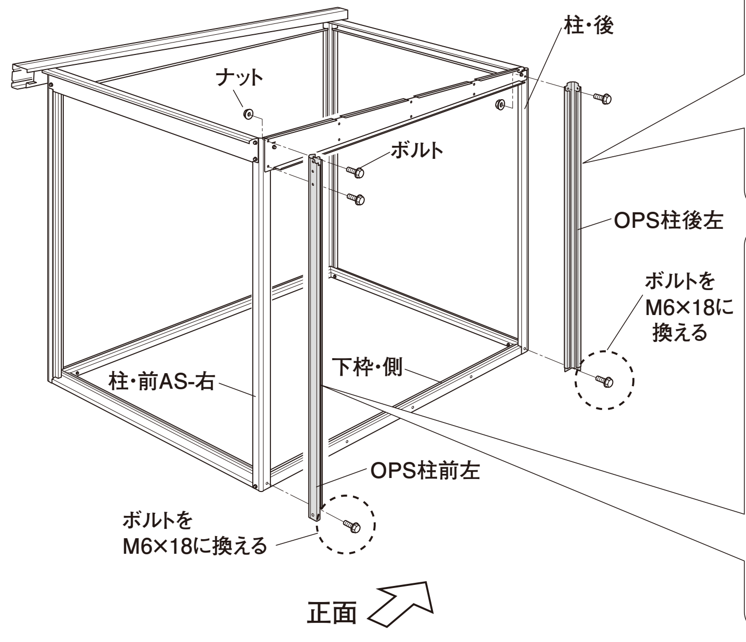

上枠中左
ナット
ボルト
上枠中右
上枠中支持金具

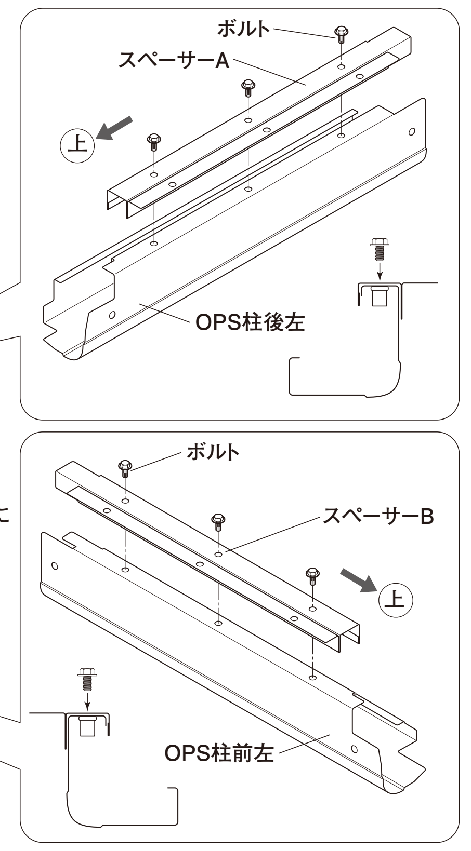
〈オープン部〉が左側の場合は反対から金具を取付けます。

② **上枠中左・右**をボルト・ナットで合わせ、上枠中とします。
この時〈物置部〉側に**上枠中支持金具**を共締めします。
③ **上枠中**は柱に金具をひっかけて仮預けのみ行い、次工程で固定します。

6 〈オープン部〉柱の組立（1）

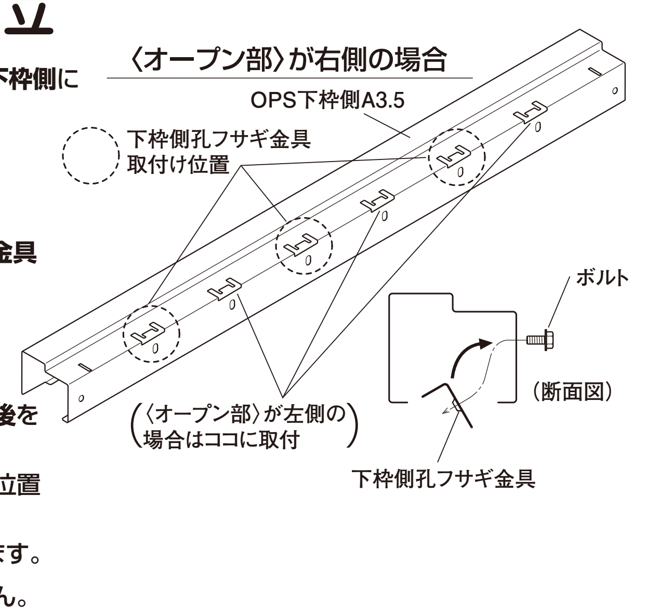
① **OPS柱前左**と**スペーサーB**を組合わせてボルト止めします。
OPS柱後左と**スペーサーA**も同様にボルト止めします。
〈オープン部〉が左側の場合は**スペーサーA、B**を入れ替えてください。
② **OPS柱前左**と**柱前AS・右**の孔位置を合わせてボルト・ナットで固定します。
下端のボルトは一度外して、M6×18に換えてください。
③ **OPS柱後左**と**柱・後**を同様に固定します。


柱・後
ナット
ボルト
OPS柱後左
ボルトを M6×18に 換える
柱・前AS-右
下枠・側
OPS柱前左
ボルトを M6×18に換える
正面

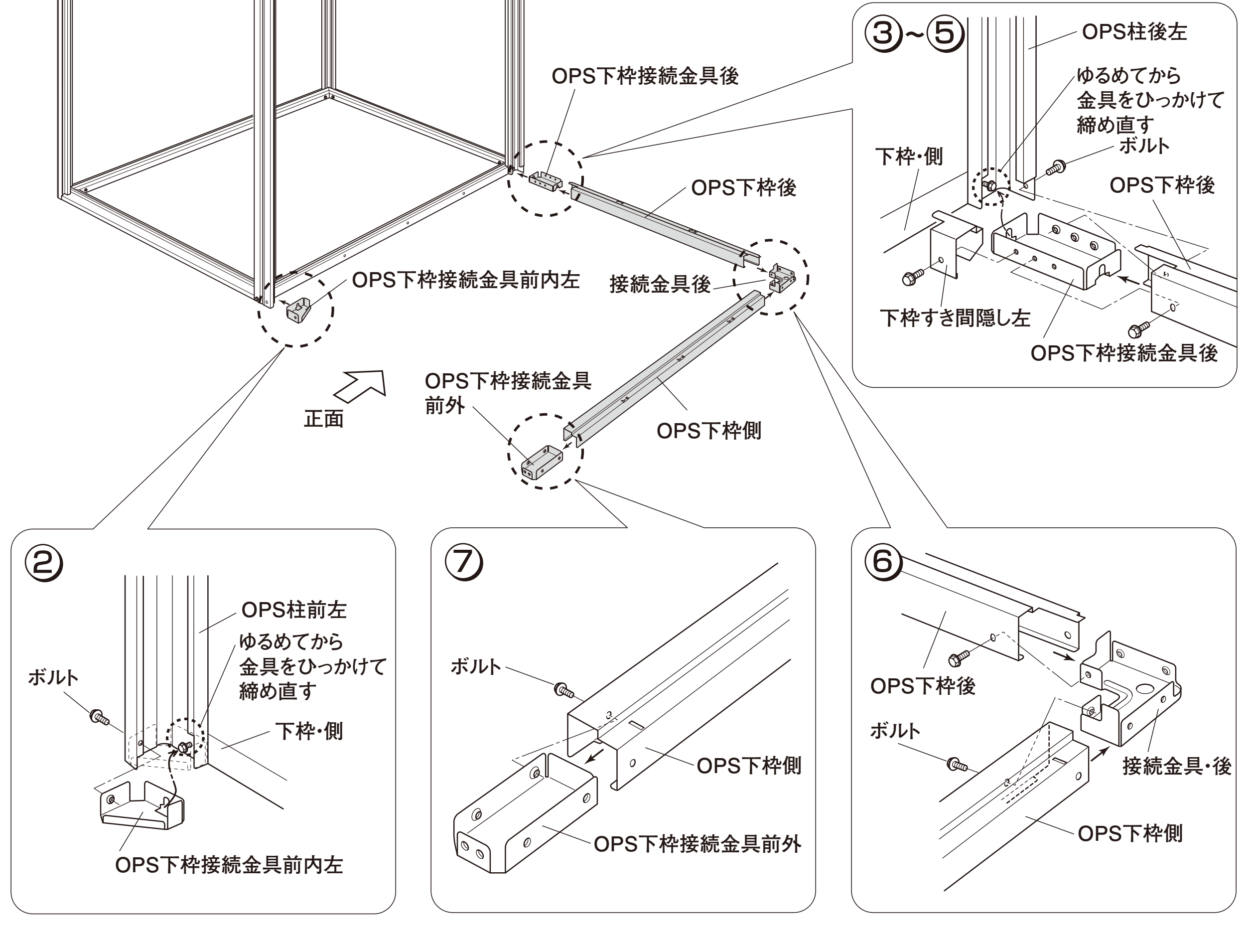

ボルト
スペーサーA
上
OPS柱後左
ボルト
スペーサーB
上
OPS柱前左

7 〈オープン部〉下枠の組立

① 奥行25タイプのみ、**OPS下枠側孔フサギ金具**を**OPS下枠側**にボルト止めします。
※ 奥行29タイプには**孔フサギ金具**は使用しません。

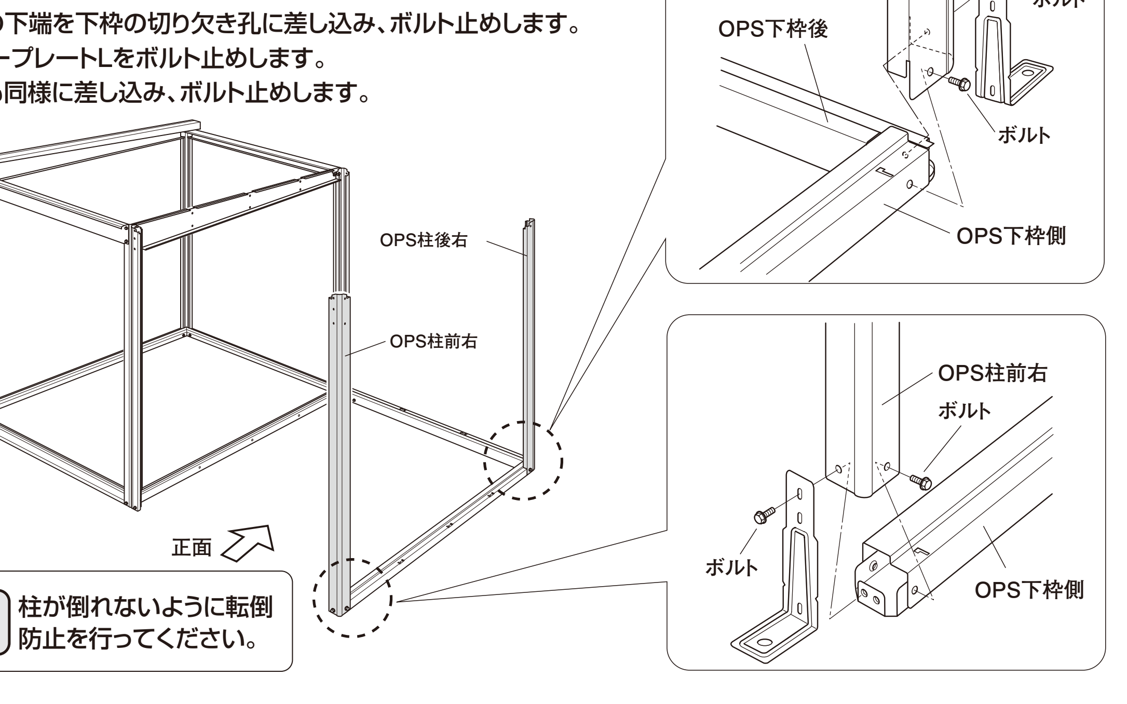

〈オープン部〉が右側の場合
OPS下枠側A3.5
下枠側孔フサギ金具 取付け位置
ボルト
(断面図)
(〈オープン部〉が左側の場合はココに取付)
下枠側孔フサギ金具

② **OPS柱前左**の下端のボルトをゆるめ、**OPS下枠接続金具前内左**をひっかけてボルトを締め直します。
柱の正面も金具とボルト止めします。
※〈オープン部〉が右側の場合、**金具前内右**は使用しません。
③ **OPS柱後左**の下端のボルトゆるめ、**OPS下枠接続金具後**をひっかけてボルトを締め直します。
④ **OPS下枠後**を**OPS下枠接続金具後**に差し込み、柱と孔位置を合わせてボルト止めします。
⑤ **下枠すき間隠し左**を**OPS柱後左**の下端にボルト止めします。
※ 〈オープン部〉が右側の場合、**すき間隠し右**は使用しません。
⑥ **接続金具後**を**OPS下枠後**と**OPS下枠側**に差し込み、内側のみボルト止めします。
⑦ **OPS接続金具前外**を前方から**OPS下枠側**に差し込み、内側のみボルト止めします。


OPS下枠接続金具後
OPS下枠後
OPS下枠接続金具前内左
接続金具後
正面
OPS下枠接続金具前外
OPS下枠側
③~⑤
OPS柱後左
ゆるめてから金具をひっかけて締め直す
ボルト
下枠・側
OPS下枠後
下枠すき間隠し左
OPS下枠接続金具後
②
OPS柱前左
ゆるめてから金具をひっかけて締め直す
ボルト
下枠・側
OPS下枠接続金具前内左
⑦
ボルト
OPS下枠側
OPS下枠接続金具前外
⑥
OPS下枠後
ボルト
接続金具・後
OPS下枠側

8 〈オープン部〉柱の組立（2）

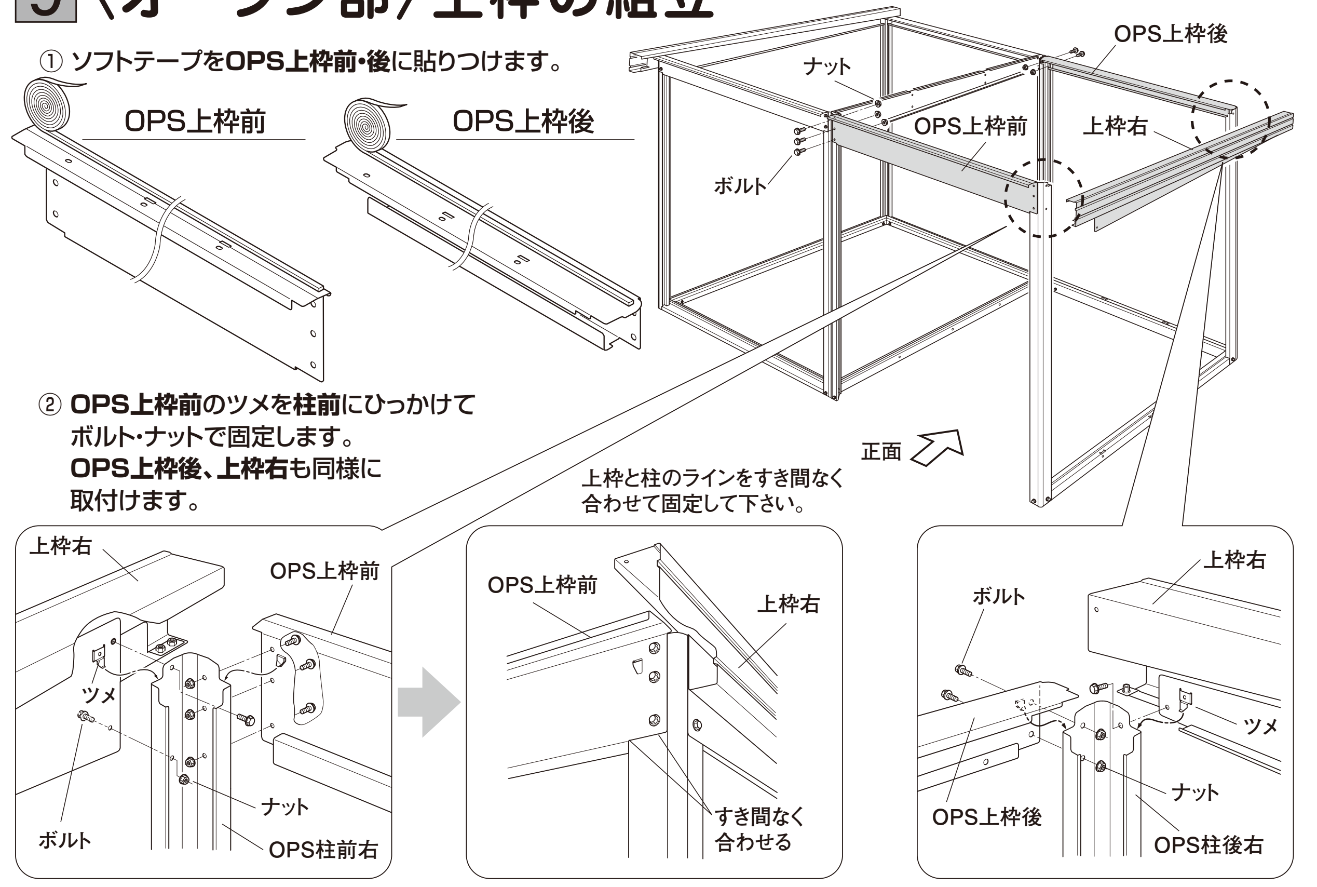
OPS柱前右の下端を下枠の切り欠き孔に差し込み、ボルト止めします。
同時にアンカープレートLをボルト止めします。
OPS柱後右も同様に差し込み、ボルト止めします。


OPS柱後右
OPS柱前右
正面
OPS柱後右
ボルト
OPS下枠後
ボルト
OPS下枠側
OPS柱前右
ボルト
ボルト
OPS下枠側

注意 柱が倒れないように転倒防止を行ってください。

9 〈オープン部〉上枠の組立

① ソフトテープを**OPS上枠前・後**に貼りつけます。


OPS上枠前
OPS上枠後
ナット
OPS上枠後
ボルト
OPS上枠前
上枠右
正面
上枠と柱のラインをすき間なく合わせて固定して下さい。
上枠右
OPS上枠前
ツメ
ボルト
ナット
OPS柱前右
OPS上枠前
上枠右
すき間なく合わせる
上枠右
ボルト
ツメ
ナット
OPS上枠後
OPS柱後右

② **OPS上枠前**のツメを**柱前**にひっかけてボルト・ナットで固定します。
OPS上枠後、上枠右も同様に取付けます。

10 〈物置部〉床板の組立

エルモ組立説明書（床板の組立）の手順を参照してください。

11 〈物置部〉下レール・床押え後の組立

エルモ組立説明書（下レール・床押え後の組立）の手順を参照してください。

12 〈物置部〉間柱後の組立

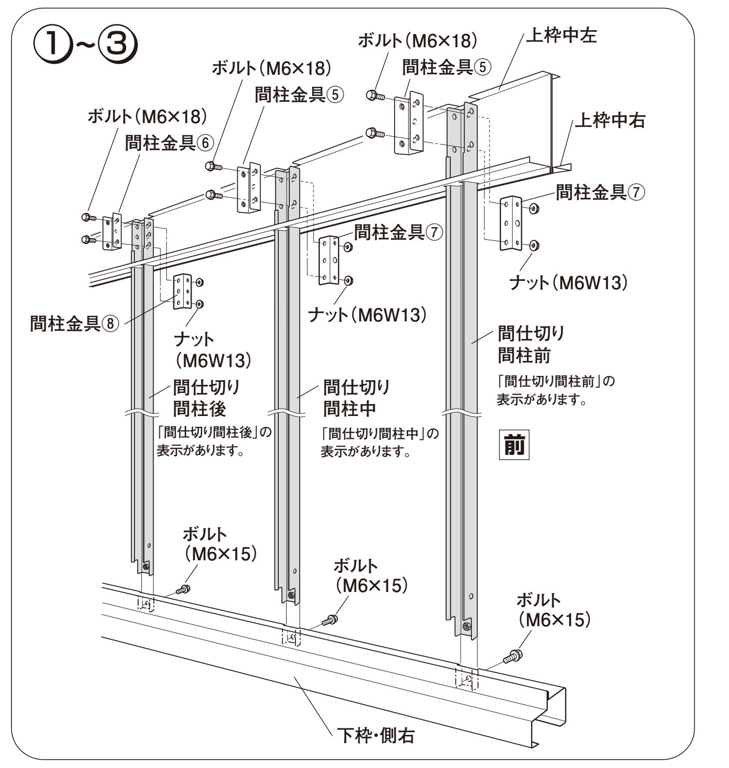
エルモ組立説明書（間柱後の組立）の手順を参照してください。

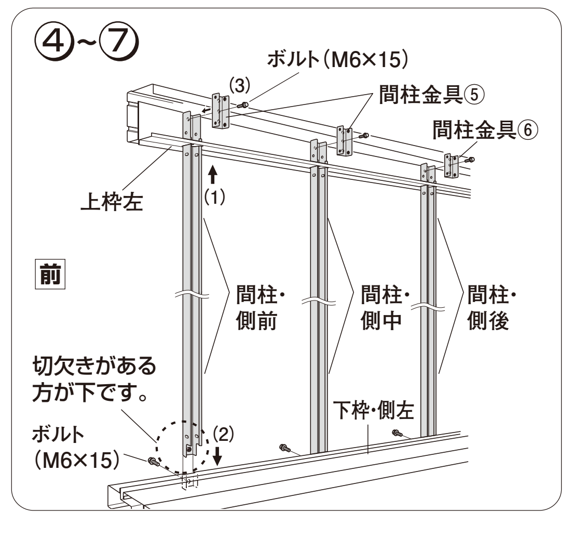
13 間仕切り間柱・間柱側の組立

① **OPS間仕切り間柱**の上側を**上枠中左**の角孔に差し込み、次に下枠に差し込み、下端をボルト止めします。（〈オープン部〉が左側の場合は、上枠中右に差し込みます。）

間仕切り部に**オプション引戸**を取り付ける場合は**EL引戸上枠**を取り付けます。はり（工程⑭）を付けた後ではEL引戸上枠が取り付けできません。

② **間柱金具⑤**を**OPS間仕切り間柱前**と**中**の上端に図のようにはめ込みます。反対側からは**間柱金具⑦**を当てがい、ボルト（M6×18）、ナット（M6W13）で2点固定します。
③ **OPS間仕切り間柱後**には**間柱金具⑥、⑧**を使用し、同様に固定します。


①~③
ボルト(M6×18)
上枠中左
ボルト(M6×18)
間柱金具⑤
間柱金具⑤
ボルト(M6×18)
間柱金具⑥
上枠中右
間柱金具⑦
間柱金具⑦
ナット(M6W13)
間柱金具⑧
ナット(M6W13)
ナット(M6W13)
間仕切り間柱後
「間仕切り間柱後」の表示があります。
間仕切り間柱中
「間仕切り間柱中」の表示があります。
間仕切り間柱前
「間仕切り間柱前」の表示があります。
前
ボルト(M6×15)
ボルト(M6×15)
ボルト(M6×15)
下枠・側右


④~⑦
ボルト(M6×15)
(3)
間柱金具⑤
間柱金具⑥
上枠左
(1)
前
間柱・側前
間柱・側中
間柱・側後
切欠きがある方が下です。
下枠・側左
ボルト(M6×15)
(2)

④ **間柱・側前、側中、側後**の上端を**上枠左（右）**に差し込みます。
⑤ 下端を**下枠・側左（右）**、に差し込みボルト止めします。
⑥ **間柱・側前、側中**の上端に**間柱金具⑤**をはめ込み中央の孔でボルト止めします。
⑦ **間柱・側後**の上端に**間柱金具⑥**をはめ込み、中央の孔でボルト止めします。

14 〈オープン部〉はり（一般型）の組立

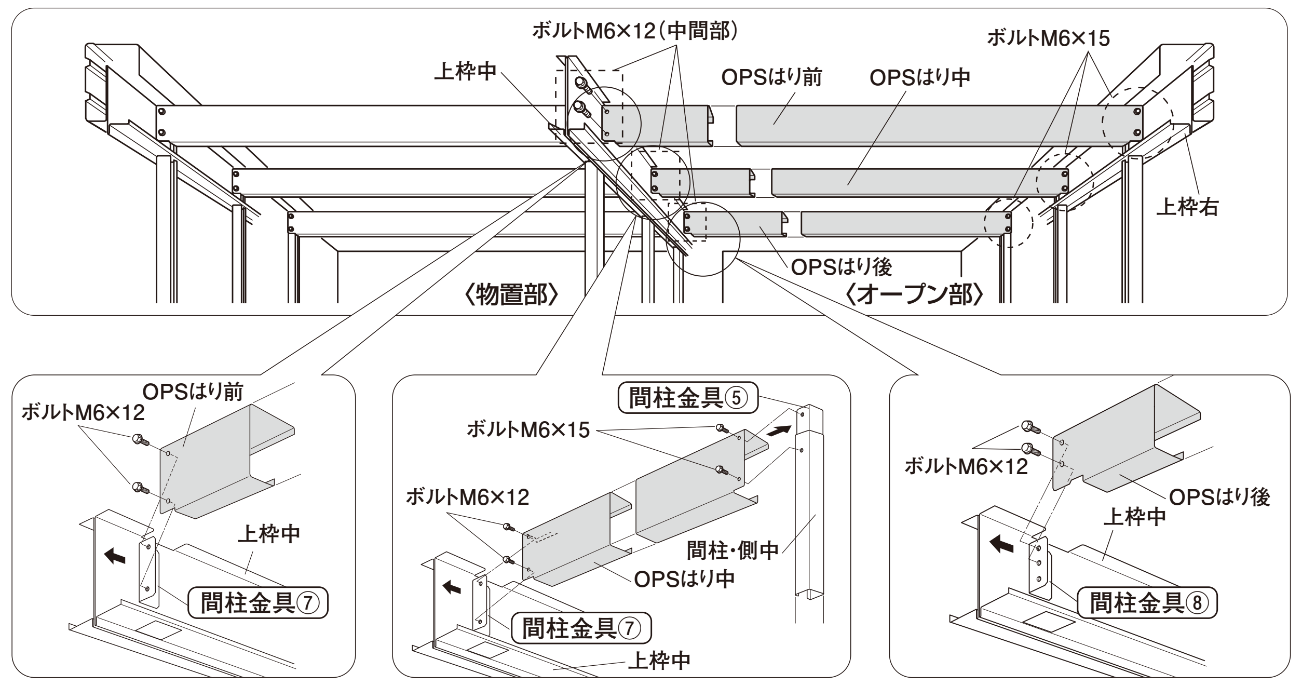
① **OPSはり前の取付け**
OPSはり前を**間柱・側前**および**間柱金具**⑦の上にのせてボルトで止めます。

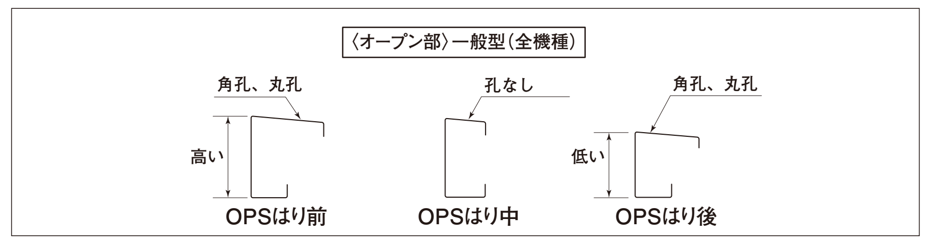
② **OPSはり中の取付け**
OPSはり中を**間柱・側中**および**間柱金具**⑦の上にのせてボルトで止めます。

③ **OPSはり後の取付け**
OPSはり後を**間柱・側後**および**間柱金具**⑧の上にのせてボルトで止めます。

注意　ボルトは上枠左右の部分はM6×15、上枠中の部分はM6×12（部品箱の中にはり専用ボルトが袋詰めしてあります）を使用します。

注意　はりは、前と後の形状が異なりますので間違えないよう注意してください。（はり上面の印字を確認してください。）


ボルトM6×12（中間部）
上枠中
OPSはり前
OPSはり中
ボルトM6×15
上枠右
OPSはり後
〈物置部〉
〈オープン部〉
OPSはり前
ボルトM6×12
上枠中
間柱金具⑦
間柱金具⑤
ボルトM6×15
ボルトM6×12
間柱・側中
OPSはり中
間柱金具⑦
上枠中
ボルトM6×12
OPSはり後
上枠中
間柱金具⑧

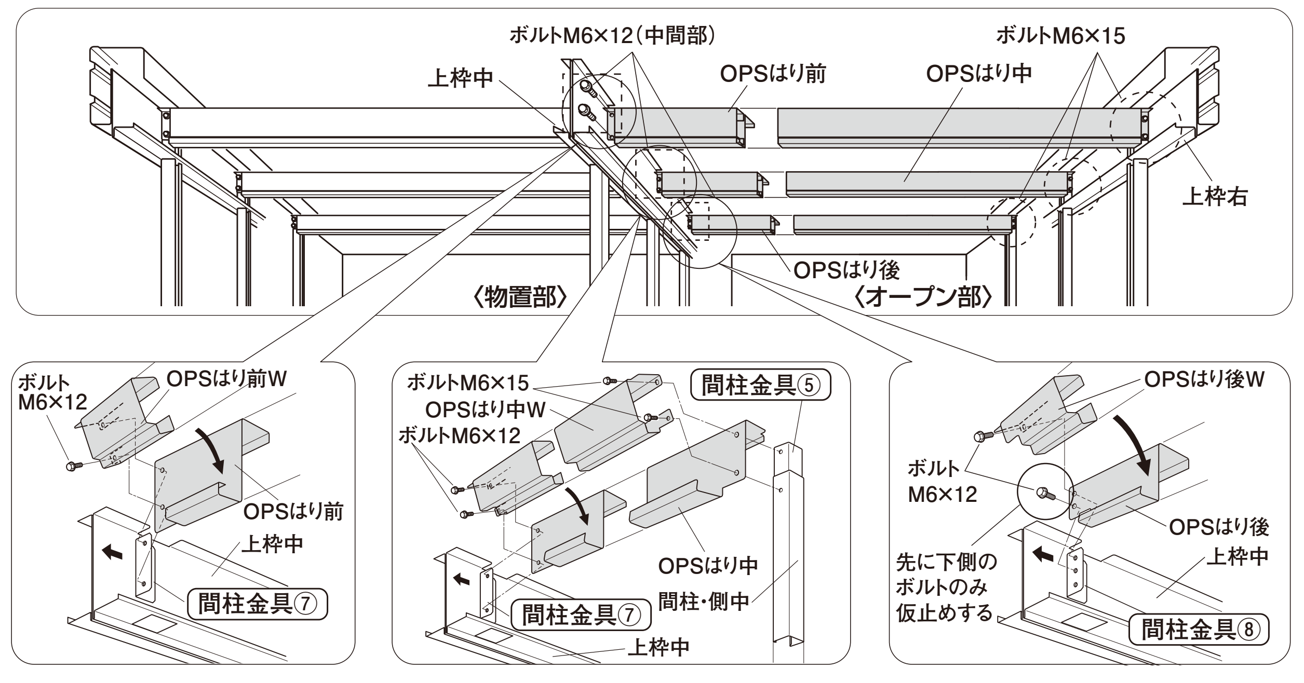

〈オープン部〉一般型（全機種）
角孔、丸孔
孔なし
角孔、丸孔
高い
低い
OPSはり前
OPSはり中
OPSはり後

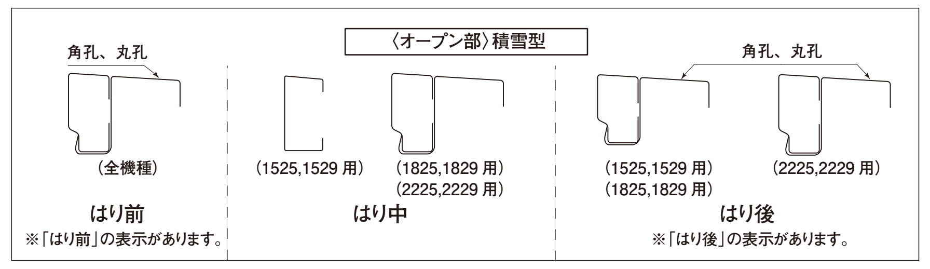
〈オープン部〉はり（積雪型）の組立

① **OPSはり前の取付け**
OPSはり前を**間柱・側前**および**間柱金具**⑦の上にのせ、その手前に**OPSはり前W**を落とし込み、2本同時にボルトで止めます。 はりの向きに注意してください。

② **OPSはり中の取付け**
OPSはり中を**間柱・側中**および**間柱金具**⑦の上にのせ、その手前に**OPSはり中W**を落とし込み、2本同時にボルトで止めます。15間口、18間口は一般型と同様に取付けます。

③ **OPSはり後の取付け**
OPSはり後を**間柱・側後**および**間柱金具**⑧の上にのせ、下側のみボルトで仮止めし、その手前に**OPSはり後W**を落とし込み、上側もボルトで止めます。

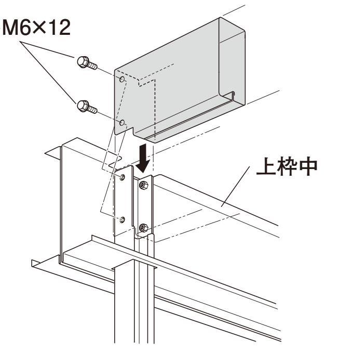

ボルトM6×12（中間部）
上枠中
OPSはり前
OPSはり中
ボルトM6×15
上枠右
OPSはり後
〈物置部〉
〈オープン部〉
ボルトM6×12
OPSはり前W
OPSはり前
上枠中
間柱金具⑦
ボルトM6×15
OPSはり中W
ボルトM6×12
間柱金具⑤
OPSはり中
間柱・側中
間柱金具⑦
上枠中
OPSはり後W
ボルトM6×12
OPSはり後
上枠中
先に下側のボルトのみ仮止めする
間柱金具⑧


〈オープン部〉積雪型
角孔、丸孔
角孔、丸孔
（全機種）
（1525,1529 用）
（1825,1829 用）
（2225,2229 用）
（1525,1529 用）
（1825,1829 用）
（2225,2229 用）
はり前
※「はり前」の表示があります。
はり中
はり後
※「はり後」の表示があります。

15 〈物置部〉はりの組立

エルモ組立説明書（はりの組立）の手順を参照し、はりを間柱金具に乗せて固定します。
上枠中の部分にはボルトM6×12を使用します。

注意　〈オープン部〉が左側の場合、積雪型の角パイプ形状のはりをのせる時は、上枠中の切欠きの上から降ろすようにしてのせます。


ボルトM6×12
上枠中

16 〈物置部〉間柱前の組立

エルモ組立説明書（間柱前の組立）の手順を参照してください。

17 〈物置部〉上枠前連結金具の組立

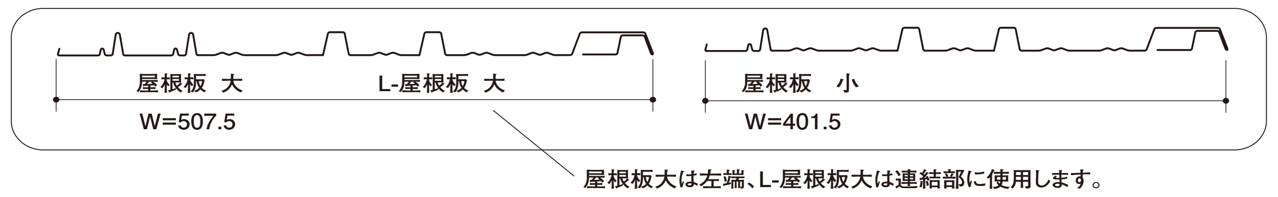
エルモ組立説明書（上枠前連結金具の組立）の手順を参照してください。 物置間口2560mm以上の場合のみの工程です。

18 〈物置部〉上枠補強の組立

エルモ組立説明書（上枠補強）の手順を参照してください。 物置間口2560mm以上、積雪・豪雪型の場合のみの工程です。

19 〈全体〉屋根板の取付

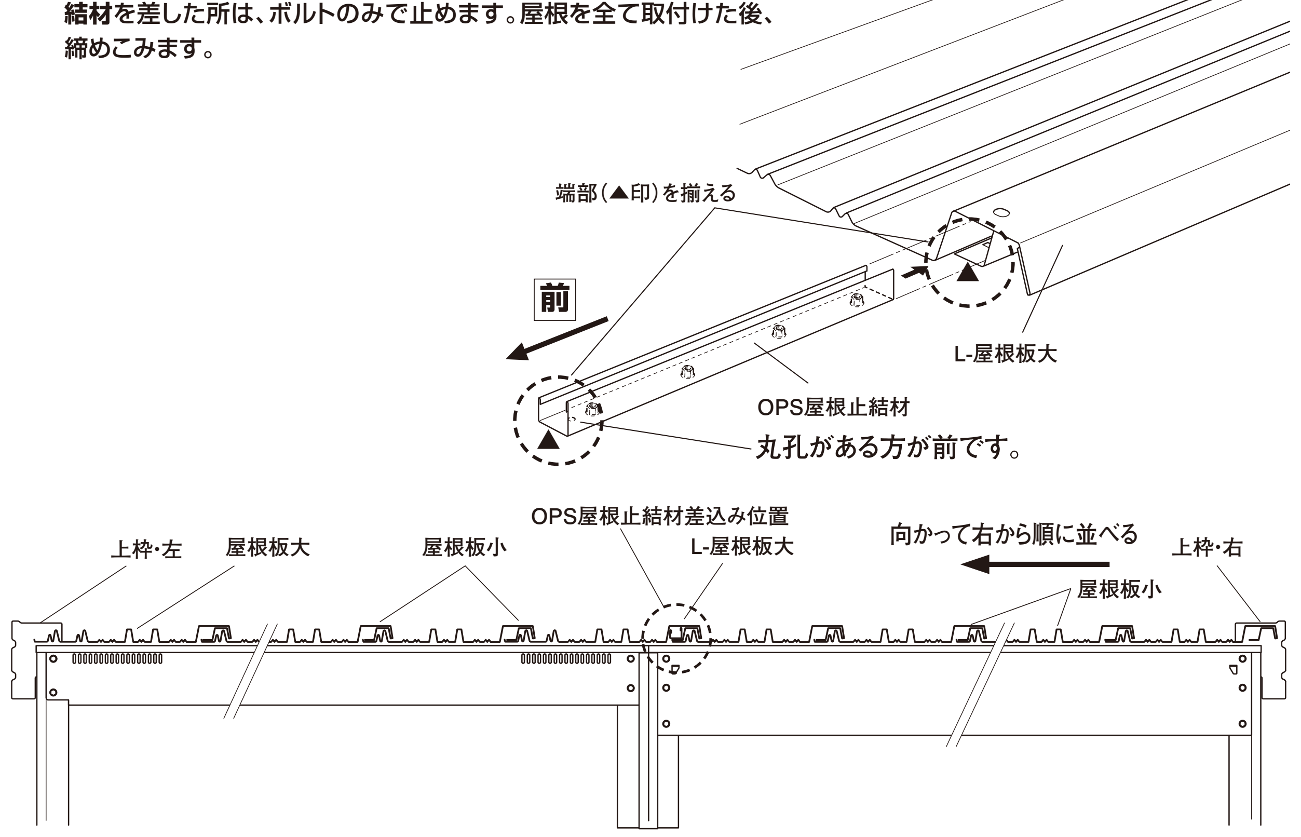
① **屋根止結材**を**L-大**に差込みます。丸孔があいている方を前にして、**屋根板**の「前」表示を確認して差込みます。

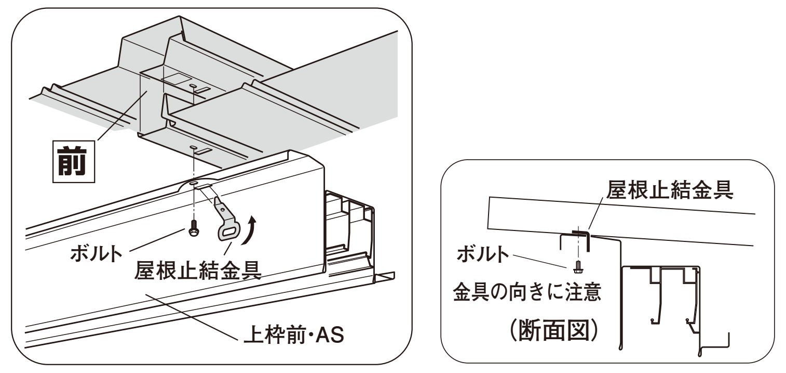

屋根板 大
L-屋根板 大
W=507.5
屋根板 小
W=401.5

屋根板大は左端、L-屋根板大は連結部に使用します。

② **屋根板**は、正面に向かって右端から**屋根板・小**を順に取付けて行き、連結部にL-大がくるように並べます。次は**屋根板・小**を取付け、左端に**屋根板・大**を取付けます。 この時 前 のマークの入っている方を前にします。

③ 隣同志の**屋根板の角孔**と**上枠・後の角孔**に屋根止結金具を通しボルトで仮止めします。**上枠前、はり前・後**も同様に仮止めします。**屋根止結材**を差した所は、ボルトのみで止めます。屋根を全て取付けた後、締めこみます。


端部（▲印）を揃える
前
L-屋根板大
OPS屋根止結材
丸孔がある方が前です。
OPS屋根止結材差込み位置
上枠・左
屋根板大
屋根板小
L-屋根板大
向かって右から順に並べる
屋根板小
上枠・右


前
ボルト
屋根止結金具
上枠前・AS
屋根止結金具
ボルト
金具の向きに注意
（断面図）

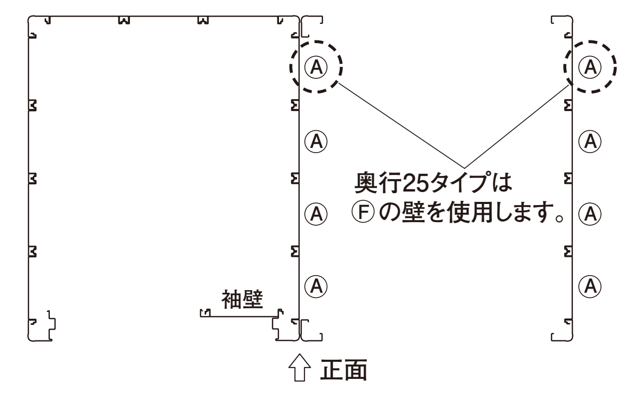
注意　ソフトテープを破損しないように屋根を取付けてください。

ワンポイント　屋根止結金具は、上枠後から先に取付け仮止めします。屋根を全て取付けた後、ボルトを締めこむと取付け易くなります。

20 袖壁・壁パネルの取付け

エルモ組立説明書（袖壁・壁パネルの取付け）の手順を参照し、**袖壁・壁パネル**を取付けます。
なお連結部、〈オープン部〉側面は〈**物置部**〉側面を参考にしてください。

〈オープン部〉壁パネルの取付位置

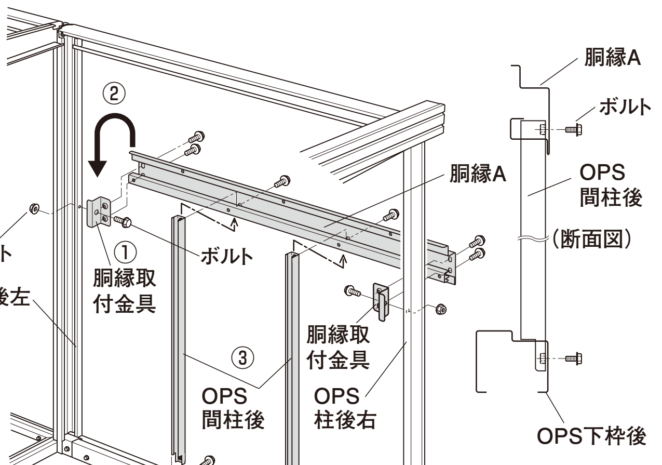

Ⓐ
Ⓐ
Ⓐ
Ⓐ
Ⓐ
Ⓐ
奥行25タイプはⒻの壁を使用します。
袖壁
正面

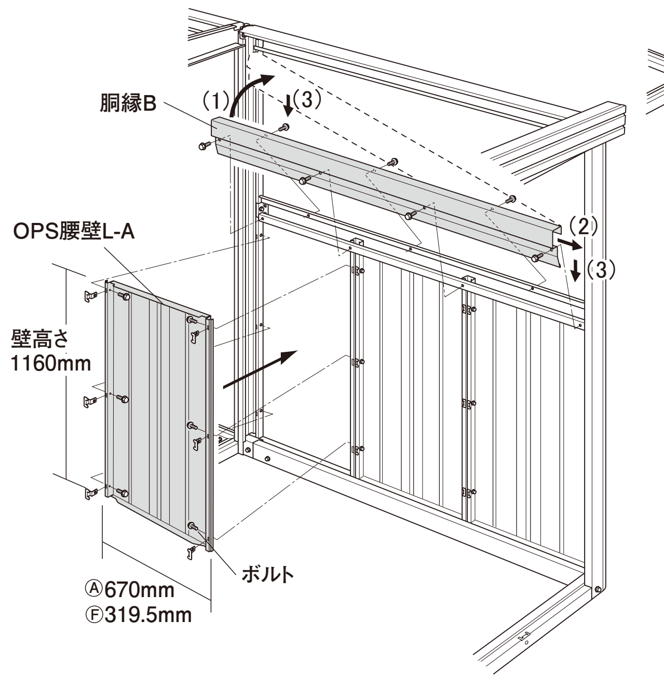
21 〈オープン部〉胴縁の取付け

① **胴縁取付金具**を**OPS柱後右・左**にボルト・ナットで取付けます。

② **胴縁A**を**胴縁取付金具**の上からひっかけ、ボルトで固定します。

③ **OPS間柱後**（15間口:1本、18間口:2本、22間口:2本）の上側を**胴縁A**の角孔に差し込み、次に**下枠後**に差し込み、上下をボルト止めします。


胴縁A
ボルト
OPS間柱後
（断面図）
②
ナット
OPS柱後左
①
胴縁取付金具
ボルト
胴縁A
③
OPS間柱後
胴縁取付金具
OPS柱後右
OPS下枠後


胴縁B
(1)
(3)
(2)
(3)
OPS腰壁L-A
壁高さ1160mm
Ⓐ670mm
Ⓕ319.5mm
ボルト

④ **腰壁**を〈**オープン部**〉の後面に壁パネルと同様に取付けます。
1525用、1529用は腰壁L-Aを2枚、1825用、1829用は腰壁L-Aを2枚とL-Fを1枚使用します。2225用、2229用は腰壁L-Aを3枚使用します。

⑤ **胴縁B**を**OPS柱後**の中に回し入れ、**胴縁A**にかぶせてボルト止めします。

22 〈物置部〉柱補強金具の取付け

エルモ組立説明書（柱補強金具の取付け）の手順を参照してください。

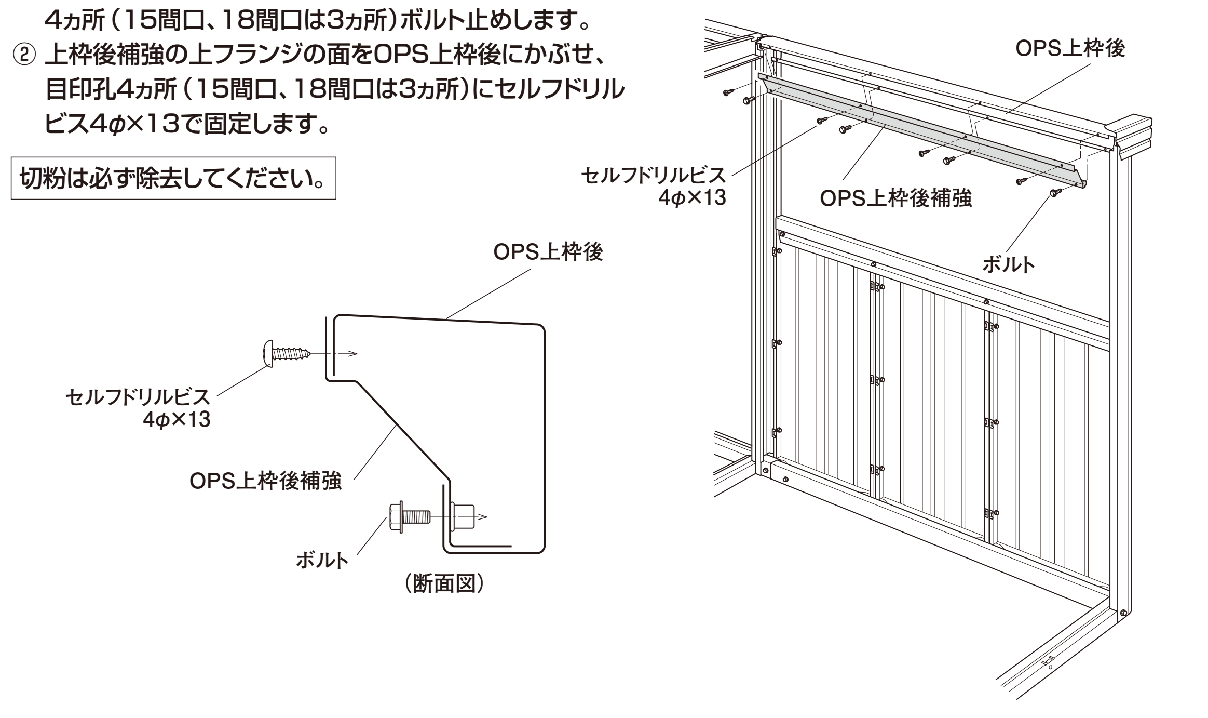
間口2213mm以下の場合のみの工程です。

23 〈オープン部〉上枠後補強の取付け（積雪型のみ）

① 上枠後補強のヘキサート付の面をOPS上枠後に入れて4ヵ所（15間口、18間口は3ヵ所）ボルト止めします。

② 上枠後補強の上フランジの面をOPS上枠後にかぶせ、目印孔4ヵ所（15間口、18間口は3ヵ所）にセルフドリルビス4φ×13で固定します。

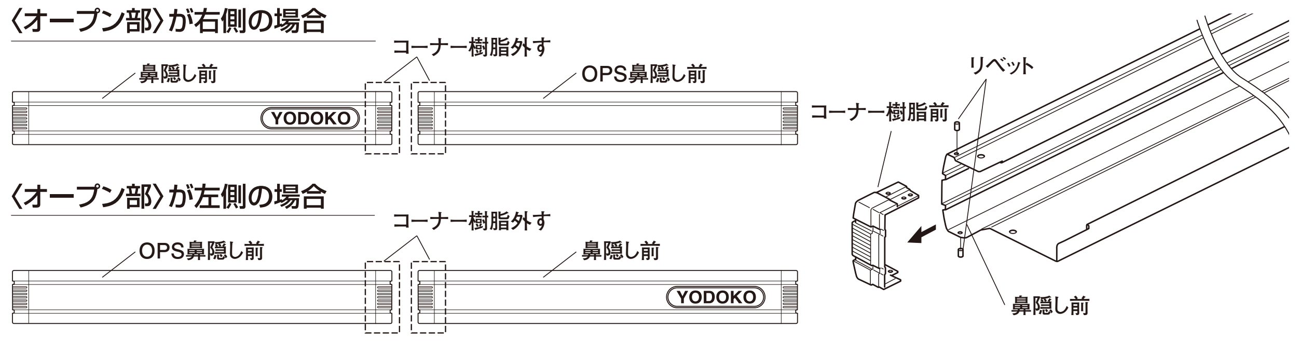
切粉は必ず除去してください。


OPS上枠後
セルフドリルビス 4φ×13
OPS上枠後補強
ボルト
OPS上枠後
セルフドリルビス 4φ×13
OPS上枠後補強
ボルト
（断面図）

24 鼻隠し前の取付け

① 〈物置部〉用の銘板付の**鼻隠し前**を左に、もう1本を右に配置します。（〈オープン部〉が左側の場合は配置が逆になります。）連結部にくる方の樹脂を外します。

樹脂を止めているリベットをドリル（径3.5～4.0φ）で外してください。外したコーナー樹脂は使用しません。


〈オープン部〉が右側の場合
コーナー樹脂外す
鼻隠し前
YODOKO
OPS鼻隠し前
〈オープン部〉が左側の場合
コーナー樹脂外す
OPS鼻隠し前
鼻隠し前
YODOKO
リベット
コーナー樹脂前
鼻隠し前

② **上枠前**のボルトを緩め、**鼻隠し固定金具A**のヒレを緩めたボルトにひっかけてボルトを締め直します。
金具の上端と**屋根板L-大**もボルト止めします。

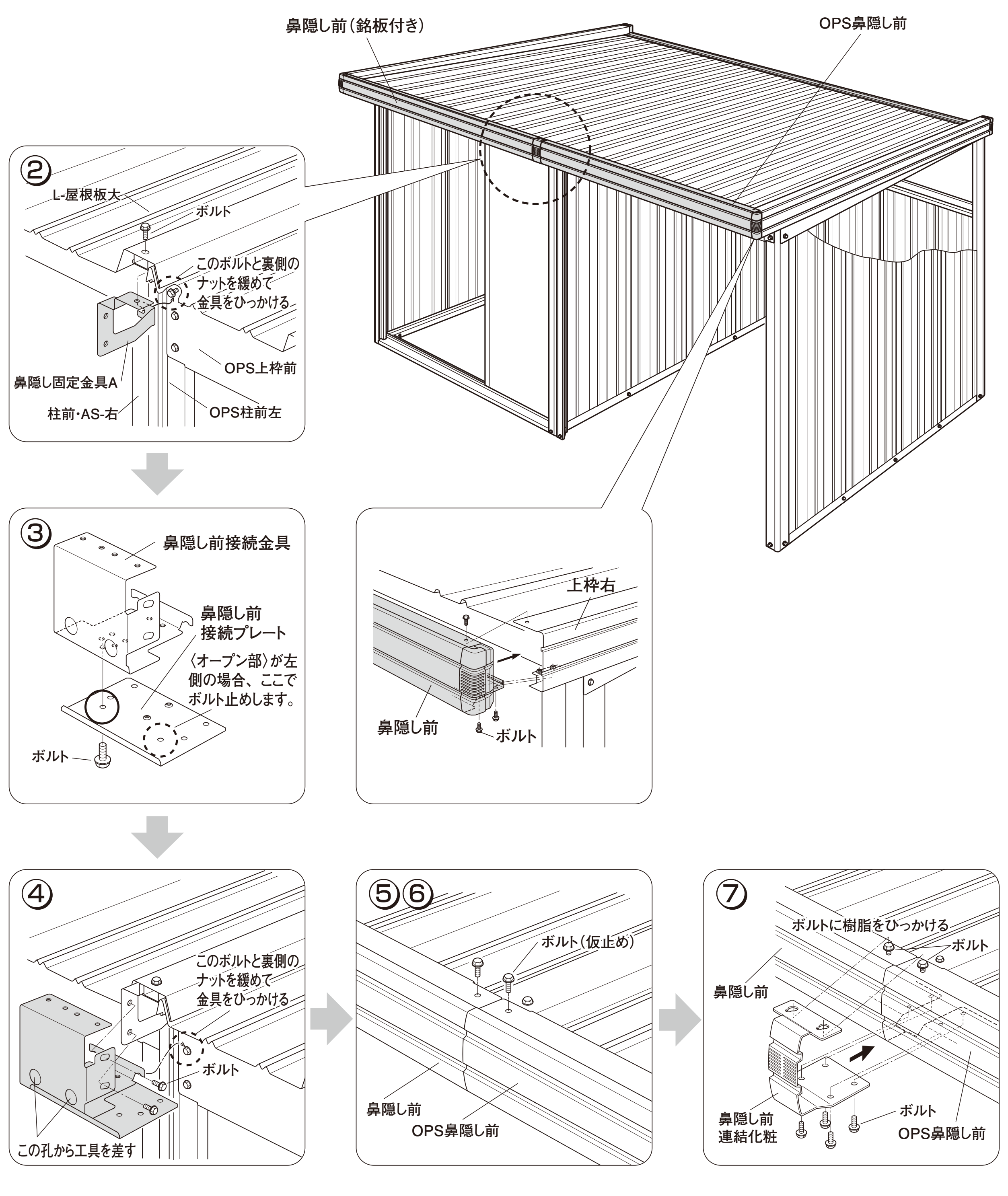
③ **鼻隠し前接続プレート**を**鼻隠し前接続金具**にボルト止めします。〈オープン部〉の方へ張り出すように付けてください。

④ **上枠前**のボルトを緩め、**鼻隠し前接続金具**の下端を緩めた**上枠前**のボルトにひっかけてボルトを締め直します。
上枠前のボルトの締め直しが困難な場合は、接続金具の前面の孔よりボックスドライバー等で締め直してください。
接続金具と**鼻隠し固定金具A**もボルト止めします。

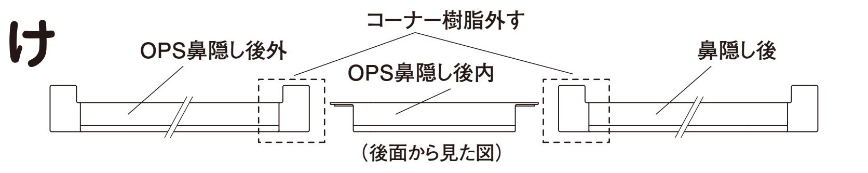
⑤ **鼻隠し前**を取付けます。**接続金具**とは上面のみボルトを仮止めしてください。

⑥ 同様に**OPS鼻隠し前**を取付けます。

⑦ **鼻隠し前連結化粧樹脂**を連結部の仮止めしたボルトにひっかけ、上面・下面とも固定します。


鼻隠し前（銘板付き）
OPS鼻隠し前
②
L-屋根板大
ボルト
このボルトと裏側のナットを緩めて金具をひっかける
鼻隠し固定金具A
OPS上枠前
柱前・AS-右
OPS柱前左
③
鼻隠し前接続金具
鼻隠し前接続プレート
〈オープン部〉が左側の場合、ここでボルト止めします。
ボルト
上枠右
鼻隠し前
ボルト
④
このボルトと裏側のナットを緩めて金具をひっかける
この孔から工具を差す
⑤⑥
ボルト（仮止め）
鼻隠し前
OPS鼻隠し前
⑦
ボルトに樹脂をひっかける
ボルト
鼻隠し前
鼻隠し前連結化粧
ボルト
OPS鼻隠し前

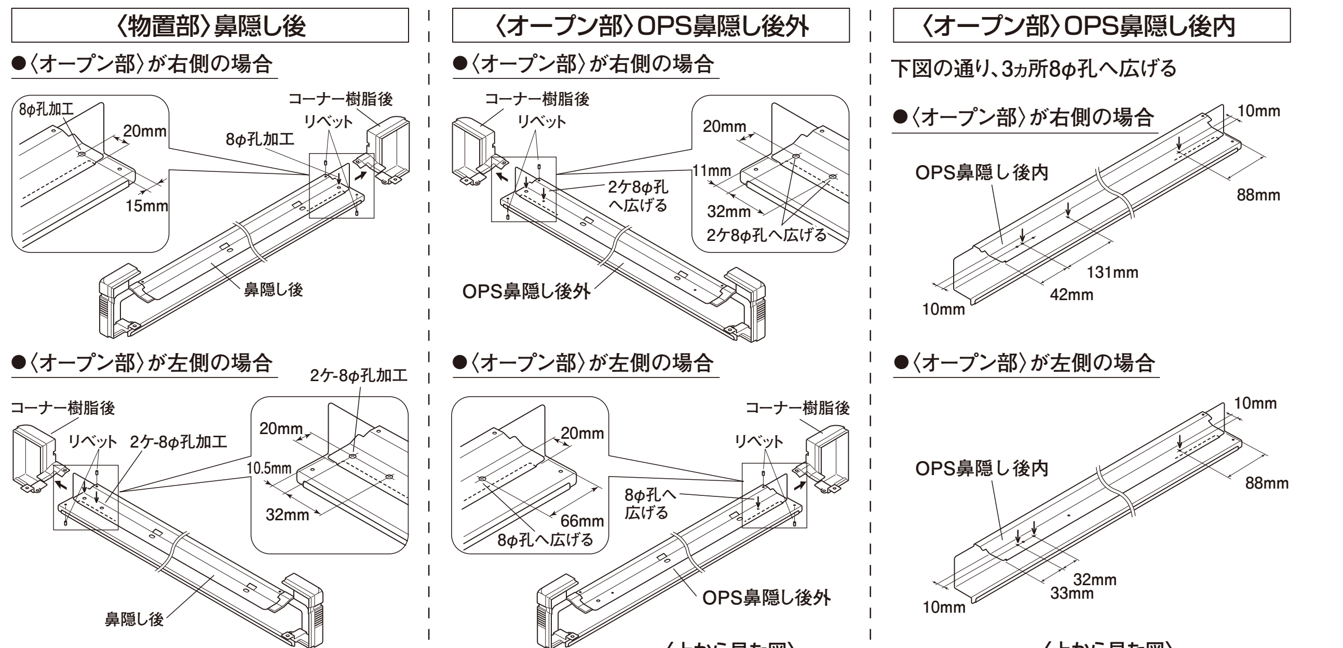
25 鼻隠し後の取付け


コーナー樹脂外す
OPS鼻隠し後外
OPS鼻隠し後内
鼻隠し後
（後面から見た図）

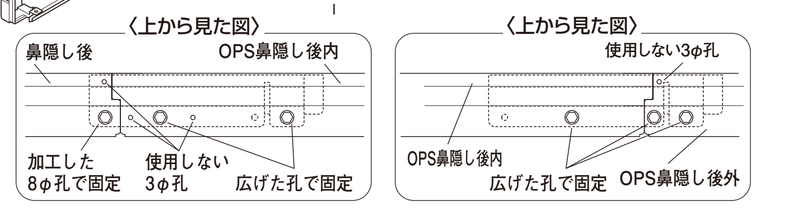
① 〈物置部〉の**鼻隠し後**と〈オープン部〉の**OPS鼻隠し後外**には両端に樹脂が付いています。**OPS鼻隠し後内**を合わせた3本を上図の様に配置し、連結部にくる方の樹脂を外します。

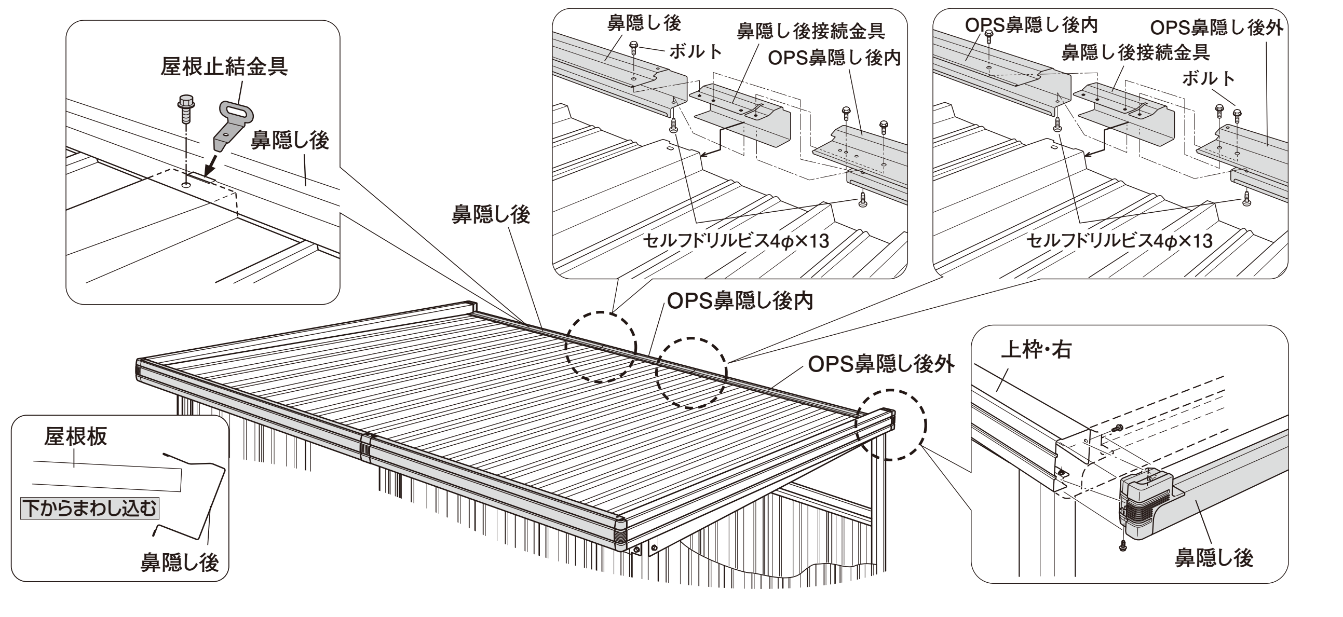
樹脂を止めているリベットをドリル（径3.5～4.0φ）で外してください。外したコーナー樹脂は使用しません。

② 3本の**鼻隠し後**の上面に孔加工します。〈物置部〉の**鼻隠し後**には下図を参考に新たに8φ孔をあけ、〈オープン部〉の**鼻隠し後外・内**には下図を参考に3φの下孔を8φに広げます。〈オープン部〉の配置により使用する3φの下孔が異なりますので注意してください。


〈物置部〉鼻隠し後
●〈オープン部〉が右側の場合
8φ孔加工
20mm
15mm
コーナー樹脂後
リベット
8φ孔加工
鼻隠し後
●〈オープン部〉が左側の場合
コーナー樹脂後
リベット
2ケ8φ孔加工
20mm
10.5mm
32mm
鼻隠し後
〈オープン部〉OPS鼻隠し後外
●〈オープン部〉が右側の場合
コーナー樹脂後
リベット
20mm
11mm
2ケ8φ孔へ広げる
32mm
2ケ8φ孔へ広げる
OPS鼻隠し後外
●〈オープン部〉が左側の場合
20mm
8φ孔へ広げる
66mm
8φ孔へ広げる
コーナー樹脂後
リベット
OPS鼻隠し後外
〈オープン部〉OPS鼻隠し後内
下図の通り、3ヵ所8φ孔へ広げる
●〈オープン部〉が右側の場合
10mm
OPS鼻隠し後内
88mm
131mm
42mm
10mm
●〈オープン部〉が左側の場合
10mm
OPS鼻隠し後内
88mm
32mm
33mm
10mm

③ 後面に向かって左から取付します。**鼻隠し後接続金具**を鼻隠し後に差し込み、ボルトで仮止めします。接続金具のヒレを屋根の重ね部に差し込みボルト止めします。両端は**上枠左右**にボルト止めします。


〈上から見た図〉
鼻隠し後
OPS鼻隠し後内
加工した8φ孔で固定
使用しない3φ孔
広げた孔で固定
〈上から見た図〉
使用しない3φ孔
OPS鼻隠し後内
広げた孔で固定
OPS鼻隠し後外

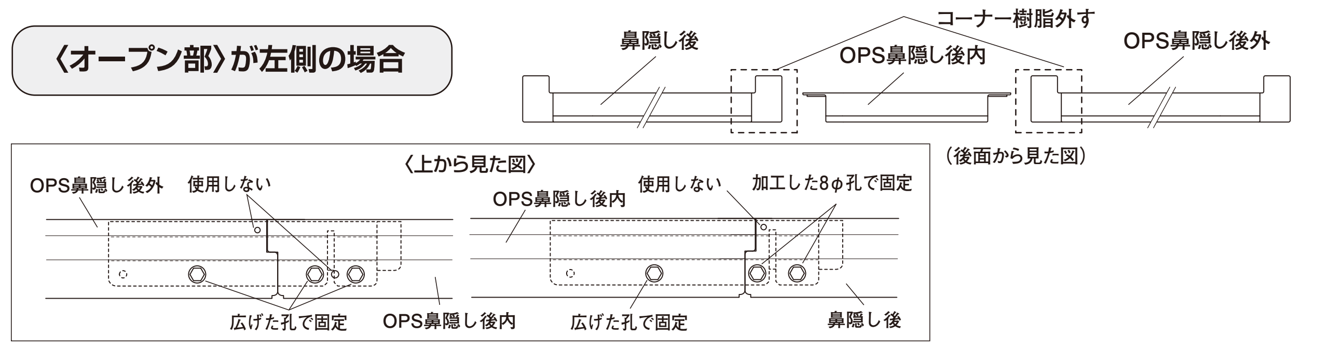

屋根止結金具
鼻隠し後
鼻隠し後
屋根板
下からまわし込む
鼻隠し後
鼻隠し後
ボルト
鼻隠し後接続金具
OPS鼻隠し後内
セルフドリルビス4φ×13
OPS鼻隠し後内
OPS鼻隠し後内
鼻隠し後接続金具
ボルト
OPS鼻隠し後外
セルフドリルビス4φ×13
OPS鼻隠し後外
上枠・右
鼻隠し後

④ **鼻隠し後**と屋根板の上面を**屋根止結金具**でボルト止めします。
鼻隠し後内には部材共通化のため使用しない孔があいています。

⑤ **鼻隠し後**の下面は目印孔の位置でセルフドリルビス4φ×13で固定します。

切粉は必ず除去してください。

〈オープン部〉が左側の場合


鼻隠し後
コーナー樹脂外す
OPS鼻隠し後内
OPS鼻隠し後外
（後面から見た図）
〈上から見た図〉
OPS鼻隠し後外
使用しない
OPS鼻隠し後内
使用しない
加工した8φ孔で固定
広げた孔で固定
OPS鼻隠し後内
広げた孔で固定
鼻隠し後

26 〈物置部〉棚板の取付け（オプション）

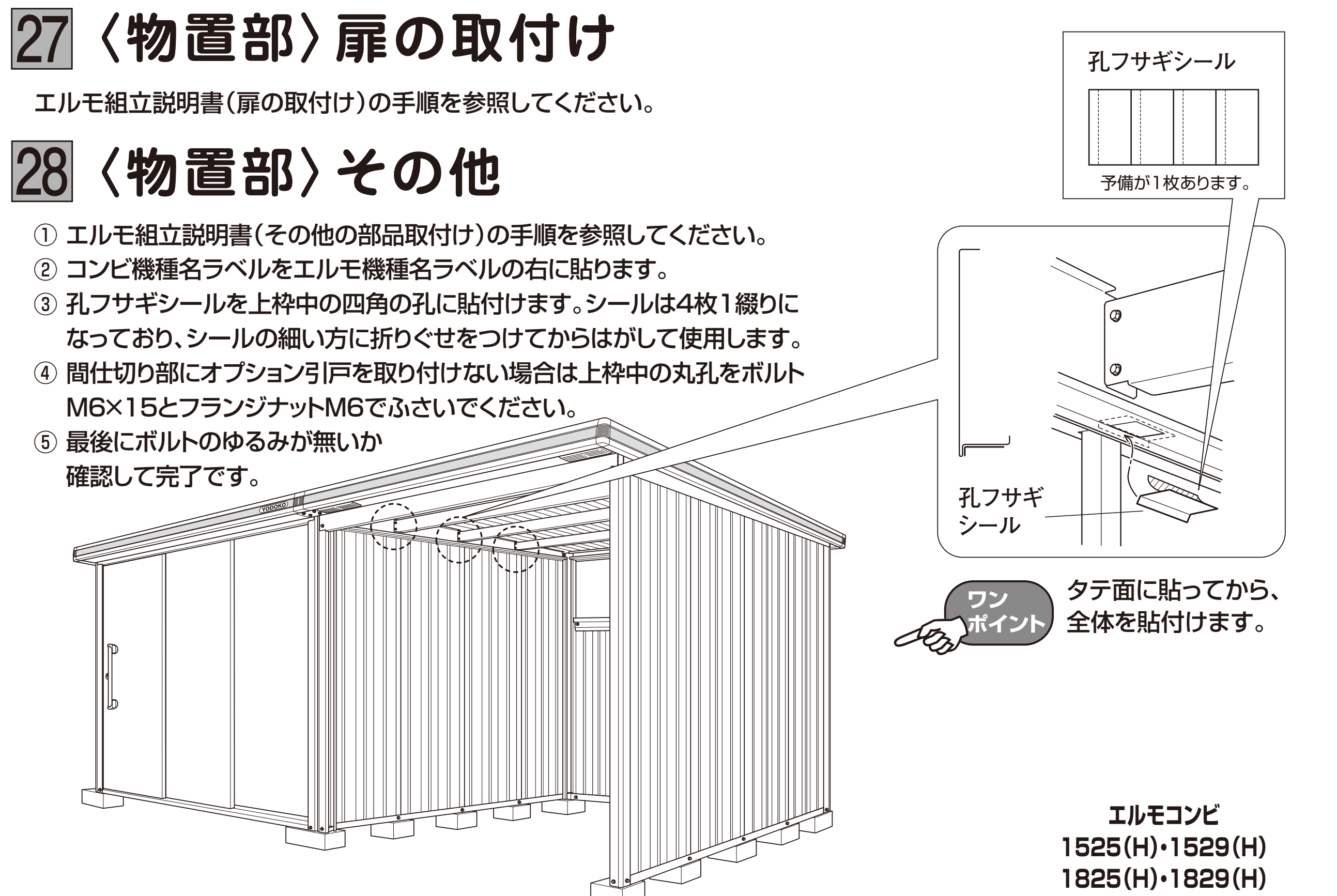
エルモ組立説明書（棚板の取付け）の手順を参照してください。
※オープンスペース部は専用棚（オプション）を取り付けてください。

27 〈物置部〉扉の取付け

エルモ組立説明書（扉の取付け）の手順を参照してください。

28 〈物置部〉その他

① エルモ組立説明書（その他の部品取付け）の手順を参照してください。
② コンビ機種名ラベルをエルモ機種名ラベルの右に貼ります。
③ 孔フサギシールを上枠中の四角の孔に貼付けます。シールは4枚1綴りになっており、シールの細い方に折りぐせをつけてからはがして使用します。
④ 間仕切り部にオプション引戸を取り付けない場合は上枠中の丸孔をボルトM6×15とフランジナットM6でふさいでください。
⑤ 最後にボルトのゆるみが無いか確認して完了です。


孔フサギシール
予備が1枚あります。
孔フサギシール
YODOKO

ワンポイント　タテ面に貼ってから、全体を貼付けます。

エルモコンビ
1525(H)・1529(H)
1825(H)・1829(H)
2225(H)・2229(H)

この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

お客様へ　組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。
施工業者の方へ　取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

ヨドコウ
淀川製鋼
（2012年B制作）